

「小川内」便り 第11号 平成23年5月

特定非営利活動法人 小川内Oプロジェクト（理事長 渡辺眞作）

事務所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小川内 安佐小川内集会所内

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

3月、東北地方で発生しました大地震や津波、原子力発電所放射能漏れの複合災害で東日本は甚大な被害が発生しました。被災された皆様にお見舞い申し上げます。当小川内地区も各世帯に義援金募金を呼び掛け、中国新聞社会事業団を通じてお届けしました。（4月16日付け中国新聞掲載）その他、地区内団体や個人的にもされております。1日でも早く鎮静化し復旧、復興することをお祈り致します。さて、3月、4月は官公庁や学校を始め多くの団体、事業所では年度末、年度初めで、組織改正や人事異動、決算、総会等で気がついたら季節は春になっておりました。それにこの春は統一地方選挙までであり、忙しい春でした。

「特定非営利活動法人 小川内Oプロジェクト」を設立しました

Oプロジェクト（任意団体）を法人化するため、広島県にNPO法人の申請をしておりましたが、3月18日認証（設立に必要な書類審査を合格）され、4月1日広島法務局に登記を行いました。

今後は、小川内の将来像（ビジョン）に向かって、社会的使命（ミッション）を果たし誠実に事業を遂行する社会的責任があり、人口が減少し過疎が進行中の小川内地区を地場産業の育成（雇用創出と経済的発展）や都市住民との交流等の事業で活性化を図りながら豊かな自然と農業、農村文化、歴史、伝統芸能を次世代に継承する諸事業を推進して参ります。以下その概要を記します。

「特定非営利活動法人 小川内Oプロジェクト」の概要

名称 「特定非営利活動法人 小川内Oプロジェクト」（平成23年4月1日登記）

役員（理事、監事）

渡辺眞作（理事長）、安福孝昭（副理事長）、岡田孝昭、迫田 勲、鈴木師正、中川徹也、中川俊雄、中野英治、原本 幸、玉田裕司（監事）、岡田和子（監事）以上11名

小川内ビジョン（将来像）

住んで良かった、住んでみたい、行ってみたい、小川内。そして夢や希望があり誇りを持てる「源快集楽」小川内を目指します。

事業

事業	内容
①農地、農業保全事業	中山間地域等直接支払い制度を利用し、小川内の農地、農業を地区全体で守ります。
②都市、地域住民との交流事業	ハウス食品の親子体験農業や白島商店会の酒米づくりを通じて、都市住民との交流を行い、食や農、環境の大切さを伝えます。
③Iターン、Uターン促進事業	地域資源観察会で発掘した小川内の宝をグリーンツーリズムでメニュー、来訪者の利便性とより親しみを感じていただけるよう、

	おがうちマップ作成や看板を設置、小河内ファンの醸成を図り、定住促進を図ります。又、小河内応援団の皆様には小河内の魅力を一層深め、小河内まちづくりのコアになっていただきたい、とお願いし、それを期待しております。
④情報発信事業	小河内便りやホームページで小河内の行事、イベント、農産物、NPO法人の活動等の情報を発信します。
⑤地域農林水産物の加工販売事業 (小河内特産物開発、商品化)	農産物の商品開発(米、野菜、加工品、発酵食品)で農産物の六次産業化を図り、柿やゆず、竹の子等未利用資源の有効活用で農家所得向上を図ります。 又、LEDホタルかごの商品化を進めます。
⑥小河内どンドン農園	小河内の農産物を作付け、地元の配食用材料として使用する外、グリーンツーリズム参加者や都市住民来訪者の野菜もぎ取り販売等で小河内の農業をPRします。
⑦雇用創出と経済活性化事業	使用済み割り箸炭リサイクル事業(弥太郎君)やモクズカニ養殖で地場産業を育成、雇用と所得創出を図り、地区を活性化します。環境と経済の調和あるまちづくりを進めます。
⑧有料配食事業	地場産の食材を使用したおかずやご飯を配食、住民の健康づくりと見守りに寄与します。
⑨その他	歴史、文化、伝統芸能等文化遺産を守り継承します。

NPO法人会員募集をしております。ご支援をお願い致します。

小河内応援団の皆さまに本NPO会員になっていただき、ご支援を賜りますよう、会員募集のご案内をさせていただきます。

広島市一番の過疎地、小河内を日本一の元気な田舎「源快集楽」(広島市の「源」となる街、「快」い暮らしができる街、人が「集」まる街、「楽」しい街)に変えようと、NPO法人を設立、頑張っております。小河内の自然や農業、歴史文化を生かし、都市住民との交流や経済的活力注入で、夢や希望、誇りの持てる小河内を建設したいと、考えています。小河内応援団の皆様には、このまちづくり親衛隊、コアとしてご参加いただき、アイデアや情報、そしてお力を賜りたいと存じます。

住んで良かった、住んでみたい、行ってみたい、そして皆様の心の故郷になるような小河内に共に建設していきましょう。どうぞよろしくお願い致します。

設立したばかりで運営資金に苦勞しています、寄付のお申し出は大歓迎でございます。

会員の種類は正会員、賛助会員の2種類ございます。どちらの会員も当法人の各事業活動に対し率先して参加いただきたいと存じますが、正会員は総会にも参加いただけます。

お問い合わせ等は下記にお願いいたします。

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3 小河内集会所内
特定非営利活動法人 小河内Oプロジェクト (tel&fax 082-835-0831)

- | | | | |
|-----|----------|-----|----------|
| (1) | 正会員（個人） | 入会金 | 10,000 円 |
| | | 年会費 | 1,000 円 |
| (2) | 正会員（団体） | 入会金 | 30,000 円 |
| | | 年会費 | 10,000 円 |
| (3) | 賛助会員（個人） | 年会費 | 1,000 円 |
| (4) | 賛助会員（団体） | 年会費 | 10,000 円 |

広島市農業協同組合 安佐支店 普通貯金 0037872

ゆうちょ銀行 五一八 普通貯金 5258213

郵便振替 01380-2-49418

どれも名義は 特定非営利活動法人 小河内プロジェクト

該当の会費を上記口座に振り込み（手数料ご負担）いただければと思います。

J Aから広島市農協 安佐支店への振り込み手数料は無料です。

同封の申込書はご記入の上、お手数をおかけしますが、上記にご提出（郵送）下さい。

登録用紙は ホームページ <http://ogauchi.web.fc2.com/html/o-toroku.xls> からもダウンロード
できます

最後の地域資源観察会に最高の参加者

2年間にわたって開催した最後の地域資源観察会を3月26日（土）に開催、当日は生憎前夜来の降雪で当日朝、約10センチの積雪があったが、これまで13回の内最高の81人が参加した。

沢田や高野は、小河内の中でも最初に人が住みついたと言われた地であったが、高度成長時代、次々に農業を諦め離村、ついに集落は消滅した。都市住民の目にこの現実を見てどのように感じただろうか。右平の「花園の里」ではオーナーの佐々木英六氏のご厚意により、園内の神社や大木等を案内、佐々木雅子さんの小河内弥太郎物語の紙芝居や小方自然観察会員の四季の解説を聞きながら昼食、歓談、楽しいひと時を過ごした。

平成23年度、グリーンツーリズム計画（予定）

月 日	内容	備考
7月 9日（土）	歴史探索 が卜（養山八幡神社総代、中川徹也）	養山八幡神社 西福寺、殿之城霊神社
10月（月間）	柿もぎ体験	提供農家と日程調整し実施
10月 9日（日）	小河内農産物市（野外活動センター）	オープンデー
11月（月間）	ゆずもぎ体験、野菜もぎ取り	提供農家と日程調整し実施
11月 5日（土）	養山八幡神社秋季大祭前夜祭	小河内昭和劇団芝居、神楽
11月 6日（日）	養山八幡神社秋季大祭	吹囃子行事
11月19日（土）	牛頭山登山（689m）	
12月 3日（土）	漬物講習会	
1月 8日（日）	竹材切り出し、とんど	子ども会
2月18日（土）	炭焼き体験	
3月10日（土）	滝山登山（692m）	

- 1・実施の詳細については、小河内便りやホームページでご案内します。
- 2・11月5日（土）養山八幡神社秋季大祭前夜祭は19：30ごろから約2時間、小河内昭和劇団の芝居があり、引き続き奉納神楽があります。終了は12時前になります。
このため、広島市青少年野外活動センター内のロッジ（約20名宿泊）を仮予約しております。集会所から広島市青少年野外活動センター内のロッジまでには車で約10分です。
詳細については、小河内便り（9月予定）でご案内致します。

案内看板を設置しました

下記の通り安佐北区役所の支援を受け案内看板を設置しました。

- ①牛頭山登山案内（明見谷コース）設置場所 明見谷（旧看板のあるところ）
- ②野外活動センター牧場案内（明見谷から）設置場所（明見谷荒川宅上）
- ③野外活動センター案内（上楓原から）設置場所 上楓原（渡辺興雄宅前）
- ④滝山登山案内 設置場所 黒瀬（中田宅上）

上記案内看板設置場所はホームページの「小河内観光マップ」で確認できます。



①牛頭山登山入口看板（明見谷ルート）

②青少年野外活動センター牧場方面看板（明見谷）

第1回グリーンツーリズム案内

歴史探訪

200年続く吹き囃子行事（広島市重用無形文化財）が開催される養山八幡神社と、小河内弥太郎が18歳で切腹したと言われる西福寺、及び安楽寺を見学、養山八幡神社総代がガイド、説明します。西福寺、安楽寺境内から見る牛頭山や小河内小学校、小河内の景色は絶景です。

参加者には当日「おがうちマップ」をお渡しします。

日時；平成23年7月9日（土）10：00小河内集会所に集合～12：00集会所で解散
少雨決行、大雨の場合は中止します。

コース；養山八幡神社～西福寺、安楽寺（約2時間）

参加費；1人500円（当日受付でお支払い下さい）

申し込み；6月30日（木）までに小河内集会所（電話、FAX 082-835-0831）
又は安佐公民館（電話、FAX 082-835-0111）

持参物；帽子、タオル、飲み物等、尚この行事は午前中で終わりますが、午後地区内を散策等希望される方はお弁当や飲み物をご持参下さい。地区内に食堂がありません。

昼食は集会所でどうぞ、地区民の作品を展示したギャラリーや図書室があります。

都市住民、地域住民との交流事業

ハウス食品が募集した小河内地区の農業体験教室に31組（家族）から応募があり、4月28日（金）小河内集会所で当法人の渡辺眞作理事長、鈴木師正担当理事、関係理事、安佐北区役所職員ら8名が立ち会いのもと抽選会を行った。渡辺眞作理事長が抽選箱に入っている番号札を拾い上げ、12組（家族）39名が決まった。当選した12家族には、6月の田植えから11月の収穫祭まで4回の農業体験や交流会の案内をする。又、広島市白島商店会の小河内地区の酒米づくりも並行して行われる。



抽選する渡辺理事長

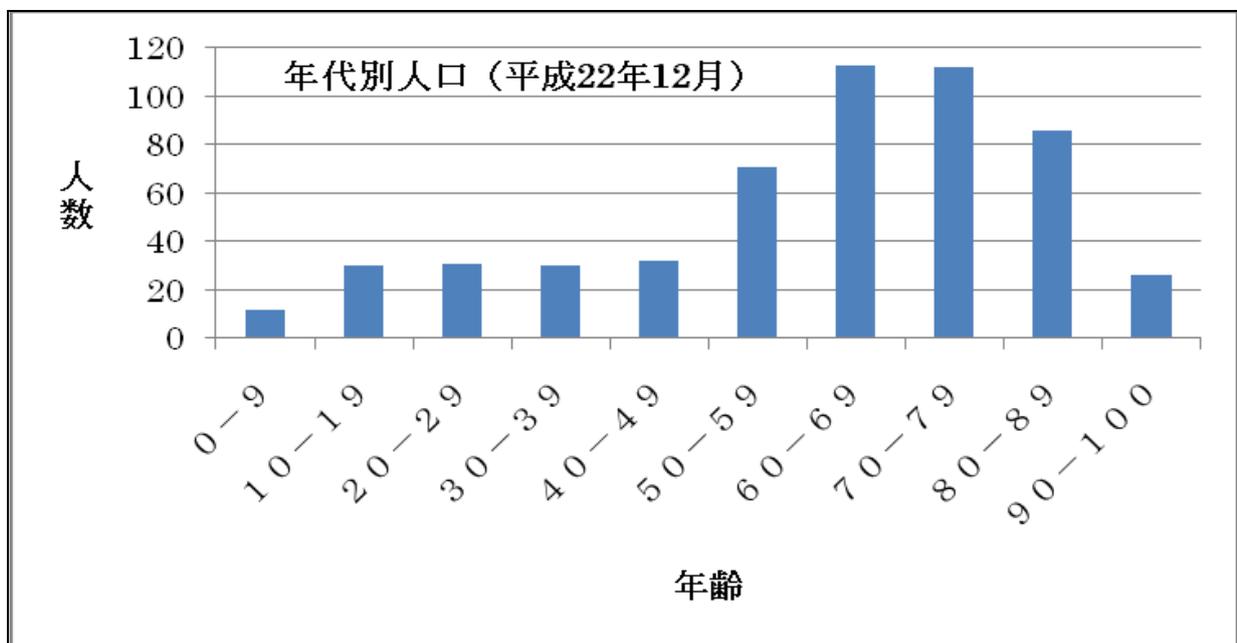


抽選を見守る理事、広島市安佐北区役所職員

農業体験等の日程

ハウス食品農業体験	白島商店会酒米づくり	並行事業
田植え（6月4日）	田植え（5月29日）	サツマイモ植え、水棲生物観察会（ハウス）
草刈り（7月23日）	草刈り（7月31日）	カーヌー教室（白島）
稲刈り（10月15日）	稲刈り（10月16日）	サツマイモ収穫（ハウス）
収穫祭（11月12日）		交流会（ハウス）

統計資料・小河内の年代別人口 少子高齢化と人口減少が続く



264世帯、人口543人、高齢率48.6%、年少率4.8%、小学校児童数13人

小河内 NOW

4月の小河内は桜が咲き、山の色が変わり小鳥たちがさえずり野山が一斉に躍動を開始、春を迎えました。又、農作業も始まり、忙しくなります。撮影は何れも4月25日



棚田の耕運作業（遠方の山は殿之城、三根地区）



水田に映える芝桜（西部地区）



ソメイヨシノ桜（小峠運動場、4月12日撮影）



しだれ桜（上三谷 鈴木宅裏4月15日撮影）
遠方の山は牛頭山

編集後記

東北地方を襲った地震による津波や原子力発電所の放射能漏れで農地が使用できない、野菜を捨てなければならない、家畜が衰弱死している、というショッキングなニュースが流れました。日本の中山間地の農地も担い手の高齢化で耕作放棄地が増えています。先日、小河内のある集落で大きな田んぼ一面に草が生えている耕作放棄地を見て、むなしさと怒りを感じ思わず涙が出ました。私たちは、いのちの源である農業、農地の大切さについて真剣に考えないといけないことを改めて痛感しました。都市住民の皆さんにも是非見ていただきたいと思っています。（S）